



令和4年度

1月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

園長 貞方 敦子

令和5年1月10日



三大幼 HP は
こちらから

「ジャンプ! 新たな景色を見られますように」

園長 貞方 敦子

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。

今年の干支は卯です。2023年の卯年は、様々なことに区切りがつき、次へと向かっていく、「飛躍」や「成長」・「向上」になり得る年だそうです。この卯年であることに期待をこめ、3月までのこどもたちとの生活を充実させていきたいと思えます。

12月には、保護者の皆様にご協力いただき、幼稚園教育についてのアンケートを行いました。教育内容については、大半の方からご理解をいただいております。嬉しく思いました。今年度は、第三大島幼稚園で生活する人が他者との関わりを通して次のようなことを願って取り組んできました。キーワードは、「自己発見 自己充実 自己変容 家庭と共に育む、幼児の確かな成長、明日へつなげる保育を目指して」です。「自分ってこんなところがあるんだ!」という発見や「こんなふうになりたいな、こんなことやってみたいな」という気持ちの芽生えをもつことができ、「思っているだけではなく、行動に移し、行動が変われることを…」と願って取り組んできました。

「こどもたちの確かな成長」のためには、こどもとはもちろんのこと、こどもを支え見守る大人同士の対話が必要だと感じています。なぜなら幼稚園は教育現場であるからです。この対話とは、相手の思いを聴き、相手の考えを理解するための対話です。あくまでも、目的が共有されている対話です。目的が共有されているからこそ、対話は深まります。逆に目的が共有されていなければ、また、話の本筋が理解されていなければ、深まりません。

3月までの間に「一人一人のこどもたちのために」、愛情をもって誠実に向き合う生活が営まれるよう、更に努力したいです。幼児期に味わった無償の愛は、こどもたちは覚えています。そして、感じています。惜しみなく愛を与えられる教師でありたいと思えます。と同時に、教師としての専門性も兼ね添えていることが質への向上となります。

今年度、上記のような幼稚園を目指して取り組んでいることを再確認し、残りの園生活を過ごしていきたいと思えます。「未来を創るこどもたちのために」意見を交わしながら、進める空間・組織でありたいと思えます。

今月の指導のポイント

年中りんご組

冬休みはいかがお過ごしでしたか。親子で正月遊びや、年末年始ならではの行事などに触れたことと思えます。幼稚園でも、コマやすごろく、凧作りや凧揚げなど、正月遊びを十分に楽しめるようにします。

また、冬休み前にしていた遊びをしたり、新たに思いを実現しながら遊んだりする中で、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じられるようにします。

友達との関わりでは、自分の思いを相手に伝えるように言葉で伝えたり、相手の思いに気付いたりできるように、引き続き教師が橋渡しをしていきます。

その他、霜や氷など、冬ならではの自然に気付いたり、チューリップやヒヤシンス、ソラマメの生長に気付いたりしていただけるようにします。気付いたことや不思議に感じたことを、友達や教師に伝えたり、学級で話題にしたりして、どの幼児も興味や関心をもてるようにしていきます。

年長にし組

冬休みは、年末年始ならではの行事や、コマ回し、カルタなどの遊びをして、ご家族で楽しく過ごされたことと思えます。幼稚園でも、カルタやすごろくなどの正月遊びを楽しむ中で、文字や数に興味をもてるようにしたり、投げゴマに根気強く取り組み、できた喜びを味わったりできるようにします。

寒さが更に厳しくなりますが、戸外で積極的に体を動かして遊ぶことも楽しめるようにしていきます。ドッジボールや鬼遊びなどルールのある遊びを取り入れ、友達とルールの確認をしたり、同じチームの友達と作戦を考えたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさやつながりを深められるようにします。

また、2月のミニコンサートに向けて、様々な楽器に興味や関心をもてるよう触れたり、音を聴いたりしながら音色の心地よさを感じられるようにしていきます。その中で、学級の友達と気持ちを合わせて楽器を鳴らす楽しさを感じられるようにしていきます。